

未来班の福祉グループの感想

アさん

自分は未来班の福祉グループで、義手義足について調べてみて歴史や種類などに着目し調べることができました。今回は福祉の現地調査に行くことができなかったのですが、インターネットを使いどのような人が利用しているのかや、会ったときどのような対応をすればいいのかなどたくさんの知らなかったことを学ぶことができました。義手義足は作るのに2ヶ月かかるというのを知り思っていたよりも短く思いました。でも作るのに何回もの苦労があるというのを知り、とても作るのに大変なことがわかりました。今度義手義足の製造者さんに聞く機会があったら話を聞いてみたいです。また今年も菜の花ロードの種を採取することができ、来賓の方や保護者の人に配ることができてよかったです。昨年度調べたことと今年調べたことを基にこれからは、菜の花ロードのところのごみをどうやったら減らすことができるのかを考え実行していきたいです。「菜の花が咲いているときはゴミが少ない」というのと、「咲いていないときはゴミが増える」という事実がわかりました。なのでこのことをしっかり後輩に引き継ぎ、この更科後をよりきれいにしていきたいです。

イさん

三年生にとっては今年最後のうつしの祭で、私は一年間の行事の中で一番好きな行事なので実行委員のときや今まで三年間で学んだ、進行の仕方、PPの作り方、原稿の書き方、読み方など全てを活かせるように取り組みました。

今年は昨年と班の分け方が少し変わったけれど、福祉班は昨年調べきれなかったことを調べ発表を行いました。

車椅子については、近くにある車椅子を扱っているお店があり、今年は伺うことができませんでしたでしたが調べられる範囲で調べ、知っておいてほしいことをまとめ、伝えることができました。車椅子についての知識は全くなかったのでこの機会をきっかけに、どのような方が使うのか、私達にできることは何かを知ることができたので良かったです。

次の義手義足については、私自身あまり見たことも少なかったので歴史や種類をクイズなどで楽しく伝えることができたので良かったです。

菜の花ロードについては、道路を見に行っただけのことをPPにまとめ伝えることはできませんでしたが菜の花が咲いているところにはゴミが減っているということを確認することができました。種を採取し地域の方々に配る活動は、一昨年、昨年と引き続き行うことができたので、これからの福祉班も続けていって、少しずつでもゴミの数を減らして行きたいと思います。

ウさん

私は未来班の福祉班として活動をしました。福祉班では車椅子や義手義足について調べました。調査をする中で、今の私達にできることについて考えながらみんなで意見を出し合いながら活動をしました。また昨年に引き続き菜の花の種を採取しました。その取り組みは菜の花ロードを作り、更科地域が綺麗になるようにするために行っています。うつしの祭を通して皆が団結し、また一人一人が自分の役割に責任を持って活動することができました。そして地域の方々に更科地域のことを発信することができたので良かったです。来年のうつしの祭では、今年度の反省を生かされるようにしたいです。

エさん

総合的な学習の発表では、「車椅子」、「義手・義足」という2つのテーマに沿って調べました。私は車椅子について調べました。ギガタブを使い、車椅子について詳しく調べることができました。スライドと原稿が合うよう、何度もリハーサルをしました。また、菜の花の種の採取もしました。採取した菜の花の種はうつしの祭のプログラムと一緒に配布しました。菜の花の種を配るという時間がなくなり、うつしの祭をスムーズに進めることができたので、来年も継続していきたいです。今年は、施設などに行って話を聞くという機会がなく、ギガタブだけで調査したので、来年は話を聞き、更に詳しく調査したいです。